　　　ＢｔｏＦ の使い方

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１９．１２．７

１．概要

　ＢｔｏＦ は、ＢＥＳファイルの文章データを１ページ３５行に印刷するソフトです。こうすることで、

行間を詰め、文章を点図に変換します。つまり、ＢｔｏＦ を使えば、点字で点図を描くことができる訳

です。

　元となる文章データは、３２枡１８行（両面印刷用）、または、３２枡３５行のＢＥＳファイルでなけ

ればなりません。前者では、奇数ページの１８行を１ページの前半に、偶数ページの１７行を後半に印刷

します。

　変換したデータはＥＤＬファイルとして保存することもできます。

２．データの準備

　まず、元となる ３２枡１８行（両面印刷用）、または、３２枡３５行のＢＥＳファイルを準備しなけ

ればなりません。変換されると行間が点字の点間程度になることを予想して、点字ディスプレイなどで

作成してください。

　点字文章の行も含ませたい場合は、上下の行を空白にしてください。

３．使い方

　1) まず、「開く」のボタン（ホットキーは Ｏ ）で、変換元のＢＥＳファイルを指定します。

　2) 選んだファイルのフルパスが表示されます。

　3) 変換する範囲を指定するために、その開始ページを指定します。１８行データの場合は「1+2」から

　　などと表示されています。デフォルトは「1+2」、または、「1」ですので、最初のページから開始す

　　る場合は変更する必要はありません。

　4) 変換する範囲の終了ページを指定します。１８行データの場合は「5+6」までなどと表示されていま

　　す。デフォルトはデータの最終ページになっていますので、データの最後まで変換する場合は変更す

　　る必要はありません。

　5) 印刷する部数を指定します。デフォルトは１部です。１部だけ印刷する場合、また、印刷せずにファ

　　イルに保存する場合は変更する必要はありません。

　6) 必要な設定は以上ですので、変換した結果をＥＤＬファイルに保存する場合は、「ファイルに保存」

　　のボタン（ホットキーは Ｆ ）で直ちにそれが実行されます。ただし、１ページ毎に、保存する場所

　　と保存ファイル名を指定する画面が出てきます。デフォルトとして、場所は ＢｔｏＦ 実行ファイル

　　が存在するフォルダ、ファイル名として変換元のＢＥＳファイル名にページ番号を付加したものが表

　　示されますので、それで良ければエンターキーだけで実行できます。

　　　ＥＤＬファイルに保存するとき、それはＢ５サイズのものとなります。これをエーデルで開いたり、

ＥＢＫファイルに取り込んだりできます。

　7) 点字印刷を実行する場合は、「印刷」のボタン（ホットキーは Ｐ ）で直ちに実行されます。ただし、

　　このためには、事前に次項 8) の「プリンタ選択」をおこなっておく必要があります。

　8) プリンタ選択のボタン（ホットキーは Ｓ ）で点字プリンタ（ＥＳＡ７２１）との接続を設定します。

　　ＥＳＡ７２１とパソコンがＵＳＢシリアル変換ケーブルで繋がれ、ドライバとして「Generic / Text

Only」が指定されていなければなりません。これを選択してください。この接続設定は保存されます

　　ので、次回からは「プリンタ選択」は必要ありません。

　上記の 1) から 8) は、ＴＡＢキーによるフォーカスの移動順でもあります。音声ソフトと併用すれば、

矢印キーやエンターキーも使って、マウスを使わずに操作することができます。

４．その他

　ＢｔｏＦ は、静岡県視覚障害者情報支援センターの土居由知氏の発案により、氏からの依頼を受けて

製作したものです。コンパイラは Ｃ＋＋ Ｂｕｉｌｄｅｒ １０．２．１ です。フリーソフトですが、

著作権は下記の者にあります。

　　　　779-3122　徳島市国府町府中５５２　　藤野稔寛

　　　　TEL　088-642-0434

　　　　E-Mail　edel-plus@ktd.biglobe.ne.jp